

マルチバンド・アプリケーション向け 11GHz で動作可能なデュアル RF パワー検出器

2006年3月23日 リニアテクノロジーはマルチバンド WiFi、WiMAX などの無線アプリケーションに最適な、11GHz で動作可能な業界初のデュアル・チャンネル RF パワー検出器 LTC5533 の販売を開始しました。

300MHz～11GHz の RF アプリケーションに対応するデュアル・チャンネルの LTC5533 は、マルチバンド・アプリケーションの要求に応じて 1 つのパッケージで複数の周波数をサポートします。検出器 1 個当たりの消費電流が 500 μ A と極めて低いので、必要なシステム電力を大幅に低減します。

LTC5533 は、全温度範囲で極めて安定かつ正確な測定を行う温度補償回路を搭載しています。このデバイスはバッファ・アンプを内蔵し、省スペースの小型表面実装パッケージで供給されます。LTC5533 は 40dB のダイナミックレンジと 45dB のチャンネル間絶縁度を特長としています。

デュアル RF パワー検出器 LTC5533 は、デュアル帯域 WiFi PA 電力制御、デュアル帯域セルラー/WiMAX 基地局、ポイントツーポイント・マイクロ波リンク、送信 PA 順方向および逆方向電力の測定、低コスト AM 検出器/受信機などの様々なアプリケーションに最適です。

LTC5533 は小型 4mm × 3mm DFN パッケージで供給され、1000 個時の参考単価は 396 円(税込み)からです。

LTC5533 の特長

- 2 つの独立した温度補償付きショットキー・ダイオード RF ピーク検出器を内蔵
- 2GHz でのチャンネル間絶縁度: 45dB
- 広い入力周波数範囲: 300MHz～11GHz
- 広い入力パワーレンジ: -32dBm～12dBm
- 広い VCC 範囲: 2.7V～6V

以上